

チャイルドシートを使いやすくする

a2200415 塩田 友里恵

【背景と目的】

今回の研究のきっかけは、「子ども」に興味があるということ、そして近年自分で車を運転し、出かける女性が増えているということです。その女性の中には、出かける際に幼い子どもを連れて行く事も多くなっています。しかし、そのときにチャイルドシートを使用する親があまり多くないということです。

平成12年4月1日から、幼児以下にはチャイルドシートを使用することが法律で義務化されました。しかし、今もチャイルドシートに子どもを座らせず、車のシートに直接座らせている親も少なくありません。

現在、不慮の事故で命を失う子どもが多く、その中でも交通事故が大半を占めています。交通事故は幼い子どもでは防ぎようもない事です。

この二つから、私は、なぜチャイルドシートを使用しない親が多いのか、どのようにしたらより多くの方が、チャイルドシートを使用したいと思い、使用する人が増えるのか、という考えから、この研究を選びました。

【制作過程】

資料収集

問題提起

アンケート調査(第一幼稚園)

完成

モデル制作

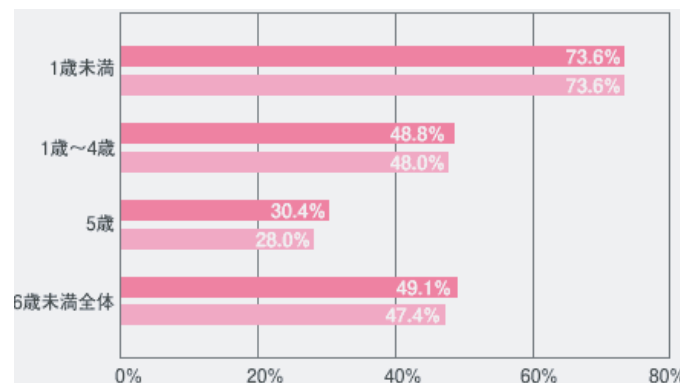
アイデア展開

集計及び問題との比較

【資料】

チャイルドシートの種類

	ベビーシート	チャイルドシート	ジュニアシート
体重	10キロ未満	9~18キロ以下	15~36キロ以下
年齢	0~1歳くらい	1~4歳くらい	4~10歳くらい



2005年度使用率

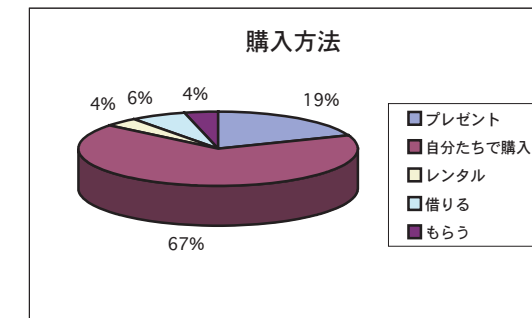
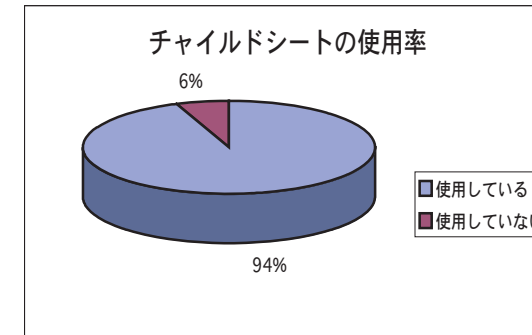
参考/JAF セーフティデータ

年齢別にチャイルドシートの使用率を表したグラフです。このグラフの上段がその年、下段は前年を表しています。

このグラフを分かるように、1歳未満の使用率に比べて、1~4、5歳の使用率が低い事が分かります。

そのほか、使用時にしっかり固定されているかという調査には、締め付け不足・固定金具やクリップの不備・車のシートに置いただけなどが挙げられました。

【アンケート集計結果】



協力/若松第一幼稚園

チャイルドシートの使用率・購入方法・その後の処理・実際にチャイルドシートを使用して不便だと感じた所・値段に見合った商品だったか・どのようなチャイルドシートなら購入したいか(理想の値段は)ということなどをアンケートにし、乳幼児のいる母親に依頼したものの一部です。この幼稚園では、9割以上もの親が、チャイルドシートを使用しているという結果でした。そのほか、自分が使用した事がないので、アンケートを参考にデザインを検討しました。

購入方法は祖父母・知人からのプレゼントが約二割、自分たちで購入したというのが約7割でした。レンタル・知人から借りる・お古をもらうという結果が2割を満たない程度だったので、自分たちが購入するのにあまり困らない、買いやすい値段にしようと思いました。

不便に思う点では、取り外しが面倒・場所に困る・子どもが汚した後に洗濯できないという点ができました。

【コンセプト】

- ・取り外しが楽
- ・チャイルドシートが洗える
- ・シートの重さを軽減(持ったときに軽く感じる)
- ・子どもの乗り降りが楽にできるように

【提案】



モデル制作
キッズデコ
着衣型チャイルドシート
『パワーベスト三点式 レッド』
を基にモデルを検討。
制作を行う。

- 1.服という「面」で体全体を包むことにより、ベルトにからまる事故を防ぎます。
- 2.友人の車やタクシー等に乗ったときもすばやく装着できます。
- 3.ほとんどのお車のシートベルトに取り付けられます。
- 4.お車に乗っていないときでもそのまま着用できます。
- 5.軽量で、かさばらず、小さく折りたたんで車内に収納できます。

【考察】

今回の研究をするにあたって、もう少し考えをまとめてからアンケート制作をするべきでした。アンケート配布後に新たに疑問が浮上した点もありました。その点は自分で調べて、手間がかかった部分もありました。そして、アンケートを依頼したのは1つの幼稚園だけだったのですが、もっと明確な答えを出すには、1つの幼稚園だけではなく、市内にあるたくさんの幼稚園に依頼するべきだと思いました。